

都市再生整備計画(第11回変更)

ぜんこうじおもてさんどうちく
善光寺表参道地区

ながのけん ながのし
長野県 長野市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野	市町村名	ながのし 長野市	地区名	ぜんこうじおもてさんどうちく 善光寺表参道地区	面積	123 ha
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度
				交付期間	平成	17	年度
					平成	21	年度

目標
 善光寺表参道を主軸とする門前の中心市街地への交通アクセスの向上、及び計画区域内の再開発等事業や歴史・文化的資源との連携により、善光寺表参道を軸とした回遊性の向上と賑わいを誘導する。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況

- 当地区は善光寺の表参道として古くから門前町を形成し、沿道は多くの参拝者を集め、永く賑わいの中心として築えてきた。
- 近年は、生活基盤の郊外化等により、当地区の衰退・空洞化が顕著に現れてきた。
- 長野オリンピックを契機に、善光寺表参道の古いアーケードの撤去や電線地中化、一部石畳化などの街路整備が行われ、長野の顔としての当地区の重要性が改めて認識された。
- 平成11年には、当地区及び隣接する長野駅周辺地区を含む210haを、中心市街地活性化法に基づく特定中心市街地に指定。善光寺表参道のトランジットモール(歩行者優先道)構想など、門前を軸として歩いて楽しめる街を目指している。
- 当地区内には、古くからの歴史を感じさせる建物や景観も残されており、現在、善光寺の歴史・伝統を活かした街並みづくりや景観づくりが官民の協力のもとに進められており、観光地としての善光寺門前の整備を図っている。(平成14年度には「善光寺周辺街なみ環境整備事業」の事業計画を策定し、行政と住民が一体となった街並み整備の取り組みを開始。また、TMOによる蔵を活かした観光商業施設の整備なども始められる予定)
- 平成12年に、当地区内の長野そごう、ダイエー長野店の2店の大型店が相次いで閉鎖・撤退したため、市は平成14年に当該地域のランドデザインとなる「市街地再生計画」を策定すると同時に、ダイエー長野店を取得して商業・公共複合施設の「もんぜんぶら座」に改修し、活性化を図っている。
- 当地区内では、旧長野そごう跡地を含む長野銀座A-1地区及び同D-1地区、また東後町・権堂町A地区の3地区において法定市街地再開発事業が進められている。
- 平成16年に、表参道の一部区間でトランジットモールを想定した社会実験を地元商店街と協働で行った。
- 今後、セントラルスクエア(オリンピック表彰式会場)、鍋屋田駐車場(旧保健所跡地)についても、善光寺表参道の回遊性向上と連携した活用を検討していく。

課題

- 善光寺の門前となる当地区に駐車場が少ないため、観光客は善光寺裏側の駐車場から出入りして境内だけの観光で終わっており、門前の市街地側への回遊が無く、門前の賑わいに結びついていない。
- 表参道沿道には、街なみ環境整備事業や、蔵を活かした商業施設「ばていお大門」事業、長野銀座再開発事業、複合公共施設のもんぜんぶら座活用事業などの諸事業があるが、これらを相互に活かす取り組みに至っていない。
- 観光客等の来街者に加え、市民や居住者にとっても歩いて楽しめるまちづくりが求められているが、基盤整備が十分とは言えず、歩行者通行量は全体的に減少している。

将来ビジョン(中長期)

- 第三次長野市総合計画後期基本計画では、「善光寺・市街地都市観光ゾーン」として位置付け、歴史的・文化的な街並みの保存・整備や駐車場整備のほか、市街地散策に向けた観光客の利便性の向上を図る。
- 長野市都市マスタープランでは、中枢拠点、賑わいの中心としての都市機能の充実及び善光寺の歴史・文化を軸とした街づくりを掲げ、賑わいある街並み整備や広域からの観光と地域を支える交通網の整備を図る。

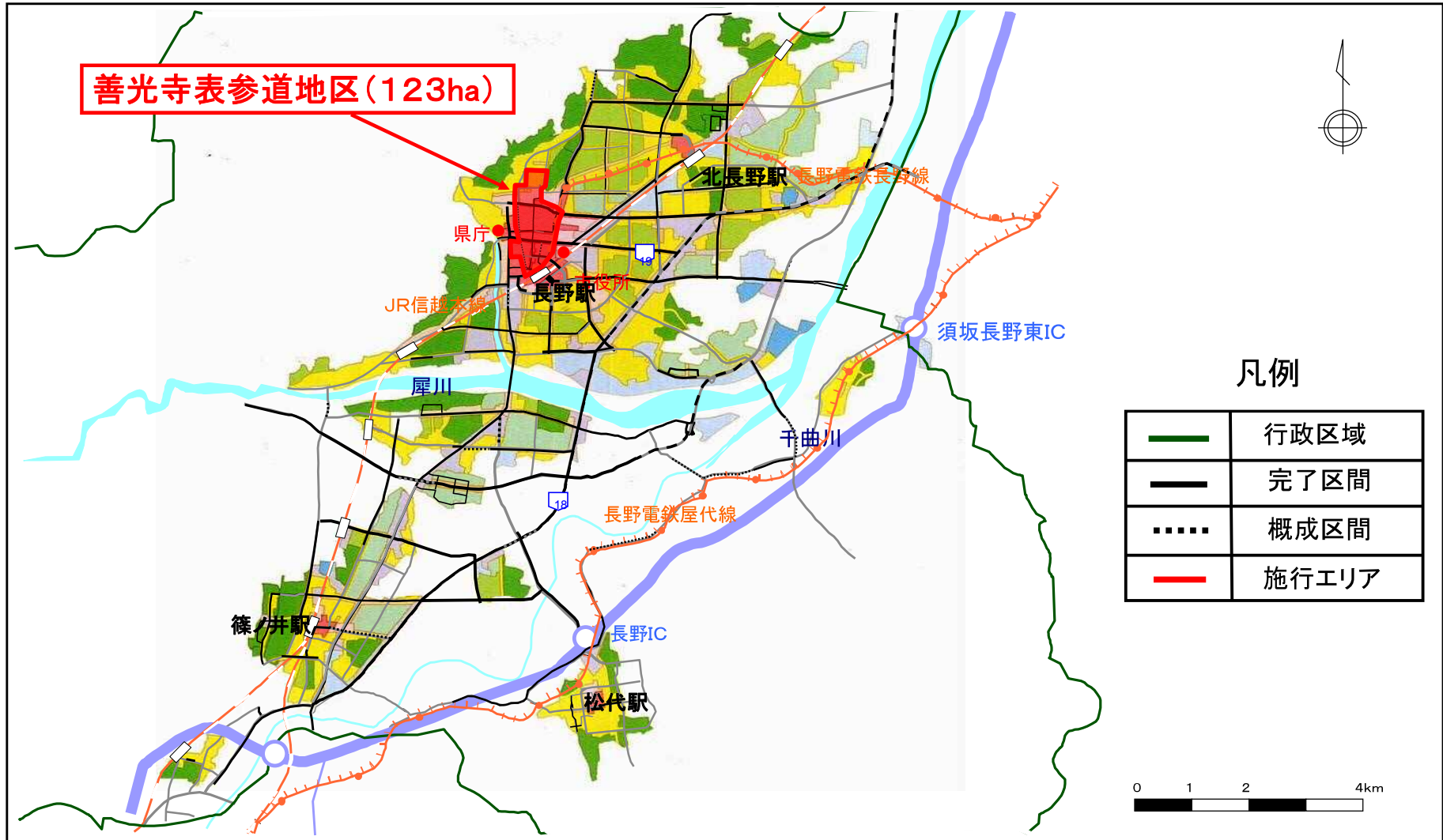
目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 歩行者・自転車数(大門町周辺)	人/12時	善光寺門前に回遊する観光客を含む歩行者・自転車数	門前への交通アクセスの向上により、歴史的資源を活かしたまちづくりと連動して観光客の誘導及び回遊性の向上を図る。	12,899	平成16年度	12,000	平成21年度
2. 歩行者・自転車数(新田町周辺)	人/12時	既存事業と新規事業が連携する中心市街地の歩行者・自転車数	中心市街地での既存事業と連動し、長野駅周辺地区からの歩行者回遊性を高める。	22,221	平成16年度	22,000	平成21年度
3. TMO施設売上金額	千円/年	TMO施設(TOMATO食品館)の年間売上金額	TMO施設の集客力増により、歩行者の滞留性・回遊性を高めるとともに、賑わいのある街なみの形成を図る。	490,849	平成15年度	495,000	平成21年度
4. 表参道沿線空き店舗率	%	表参道(中央通り)に面する空き店舗率(空店数/総店数)	表参道を軸とした諸事業の展開と賑わいの創出、回遊性の向上により、一帯の魅力を高め、空き店舗の減少につなげる。	7.4 (20/271)	平成16年度	5.9 (16/271)	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> 善光寺門前への交通アクセスの向上により、歴史的資源を活かしたまちづくりと連動して観光客の誘導・回遊性の向上を図る。 	善光寺門前駐車場整備事業
<ul style="list-style-type: none"> 地区内の市街地再開発事業をはじめ、撤退大型店の活用やTMOの店舗整備などの諸事業と連携し、表参道を軸とした一層の賑わい形成を図る。 	長野銀座A-1地区広場整備事業 野外彫刻ながのミュージアム事業 生涯学習センター整備事業 長野銀座A-1地区市街地再開発事業・長野銀座D-1地区市街地再開発事業 長野灯明まつり・もんぜんぶら座拡大活用事業 ちよつ蔵おいらい館主屋修理事業・ちよつ蔵おいらい館ギャラリー一修理事業
<ul style="list-style-type: none"> 安全快適で歩いて楽しい街にするため、善光寺の表参道地区に相応しい歩行空間の整備充実を図る。 	中央通り(歩道修繕)・千才町通り・山王栗田線 市道長野西160号線他一線整備事業・市道長野西178号線整備事業 市道長野西175号線整備事業 南八幡川親水施設整備事業・上千歳広場 長野大通り歩道整備事業(無散水消雪施設) 長野駅善光寺口顔づくり調査・老朽案内板除却 事業効果検証
その他	

善光寺表参道地区(長野県長野市) 整備方針概要図	面積	123 ha	区域	長野市新田町の一部他
--------------------------	----	--------	----	------------



善光寺表参道地区(長野県長野市) 整備方針概要図

目標 善光寺表参道を主軸とする門前の中心市街地への交通アクセスの向上、及び計画区域内の再開発事業や歴史・文化的資源との連携により、善光寺表参道を軸とした回遊性の向上と賑わいを誘導する。	代表的な指標	歩行者・自転車交通量(新田町周辺)(人/12時)	22,221	(16年度) →	22,000	(21年度)
		TMO施設売上金額(千円/年)	490,849	(15年度) →	495,000	(21年度)
		表参道沿線空き店舗率(%)	7.4	(16年度) →	5.9	(21年度)

